

1. 学校概要

○ 学校紹介

- ・ 1・2年定員 240名（普通科200名、家政科40名）
- ・ 3年定員 280名（普通科240名、家政科40名）
- ・ 全校生徒 719名（R5年4月時点）
- ・ 家政科は全県学区

1.学校概要

○進路状況（R5年実績）

国公立大学	53名
私立大学	185名
短期大学	14名
専門学校	36名

1.学校概要

○ハンドボール部の状況

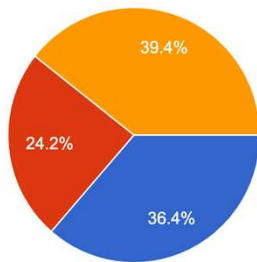
3年生	15名（女子部員2名含む）
2年生	09名（マネージャー1名含む）
1年生	12名（マネージャー1名含む）
合計	36名

研究対象者

	在籍	第1回	第2回
1年生	12名	12名回答	11名
2年生	08名	08名回答	08名
3年生	13名	13名回答	13名
在籍	33名	33名	32名

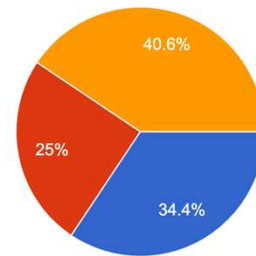
学年
33件の回答

第1回アンケート（2023年7月）



学年
32件の回答

第2回アンケート（2023年12月）



● 1年
● 2年
● 3年

1. 学校概要

○ハンドボールの実績

インターハイ 13大会連続24回出場（最高：ベスト16）

全国選抜大会 4大会連続15回出場（最高：ベスト8）

2023年 かがしま特別国体 準優勝

2.研究の目的

<現状>

- ・ 県内の優秀な選手が多く在籍し、高い目標に向けて切磋琢磨し活動している。
- ・ 県内では不動のトップチームとして10年以上活躍している。
- ・ 中国地区の強豪校として認知されているが、全国ベスト8の壁を越えられない。

<課題>

- ・ 部員数も増えているが、競技レベルの差が大きくなっている。
- ・ チーム目標を達せするため、一人一人に明確なポジション（仕事）がない。
- ・ 短時間練習であるため（90分/平日）振り返りの機会が不足。

<期待する姿>

- ・ 主体的に行動できる選手
- ・ 帰属意識が高く、チームの為に行動できる選手。

3. 研究の方法

- ・ 生徒への意識調査
- ・ モデル校（筑波大学）へ訪問。
（練習・公式戦・ミーティング）
- ・ モデル校（筑波大学）のヘッドコーチ招聘
（指導実践・チームマネジメント・情報分析）

3. 研究の内容 1

意識調査 7月 → 1月

総社高校ハンドボール部のチーム目標達成に向けた取り組みについて評価してください。

十分活動できている。
 まあまあ活動している。
 あまり活動できていない。
 全く活動できていない。

チーム目標に達成のために自分自身に与えられた役割がある。*どのような役割でもよい。*

ある
 ない

自分の役割についてやりがいを感じていますか？*役割があると答えた選手のみ回答。

非常に感じる
 感じる
 あまり感じない

総社高校ハンドボール部 アンケート

日本語に不慣れな選手のために、選手一人一人へ個別調査を行い、真の日本チームにさらけたい選手となるための日常の行動・練習の取り組み方・試合に対する心構えなどを現状より向上させることが目的です。

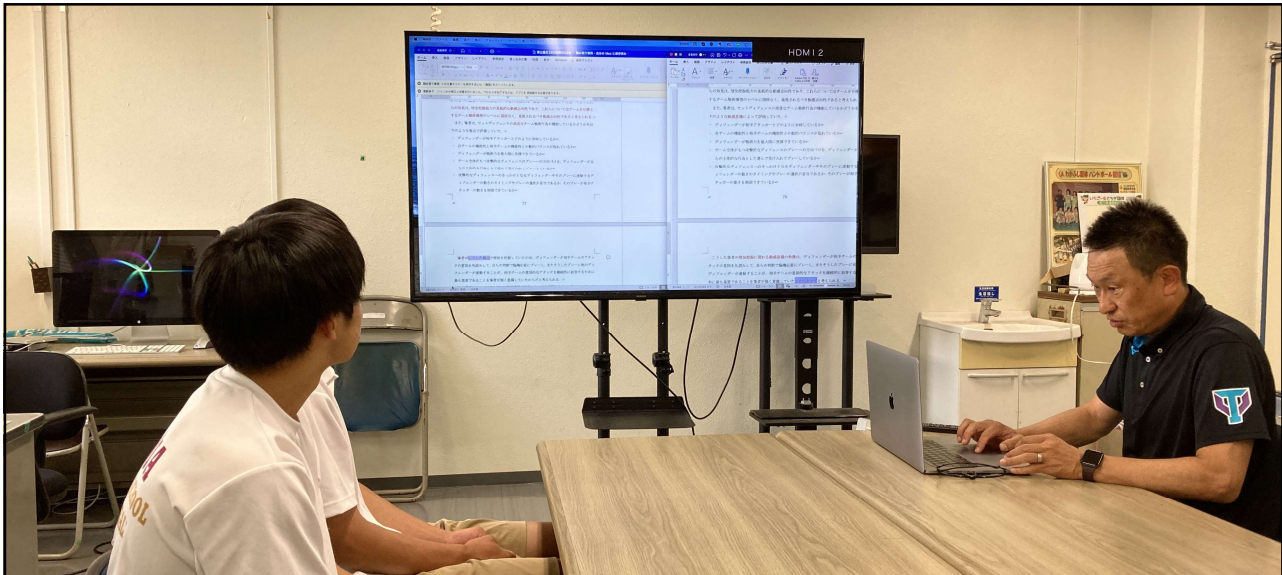
メールアドレス*

このフォームではメールアドレスが収集されます。設定を変更

学年*

1. 1年
 2. 2年
 3. 3年

ボリション ※一つだけ選択すること*



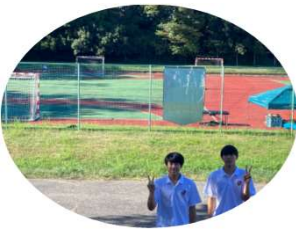
3. 研究の内容 2 筑波大学訪問 9月



3. 研究の内容 2

筑波大学訪問 9月

3. 研究の内容 2 筑波大学訪問 9月



3. 研究の内容 筑波大学訪問 9月



3. 研究の内容 3
筑波大学
HC招聘 11月



3. 研究の内容 3 筑波大学 HC招聘 11月



例) 筑波大学ハンドボール部

- ポリシー (基本理念)
 - ハンドボールを通して、人々の成長と文化の発展に貢献する
 - 自信、勇気、誇りを持って社会に出て行く



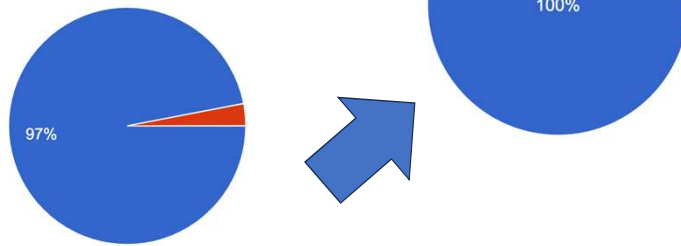
4. 研究の成果

チーム目標理解度

第2回アンケート

総社高校ハンドボール部のチーム目標（日本一）に対する理解度を評価してください。
32件の回答

第1回アンケート



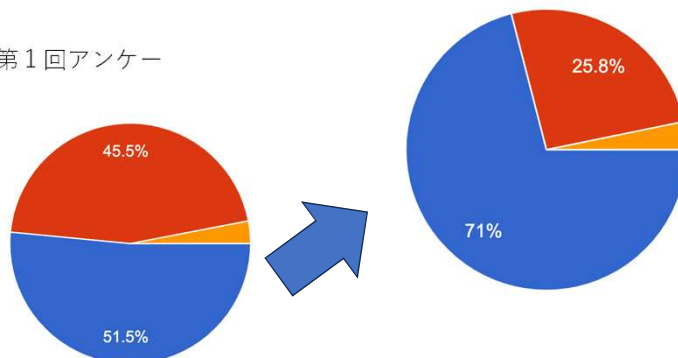
- 十分理解している。
- まあ理解している。
- あまり理解できていない。
- 全く理解できていない。

チーム目標達成への取り組み

第2回アンケート

総社高校ハンドボール部のチーム目標達成に向けた取り組みについて評価してください。
31件の回答

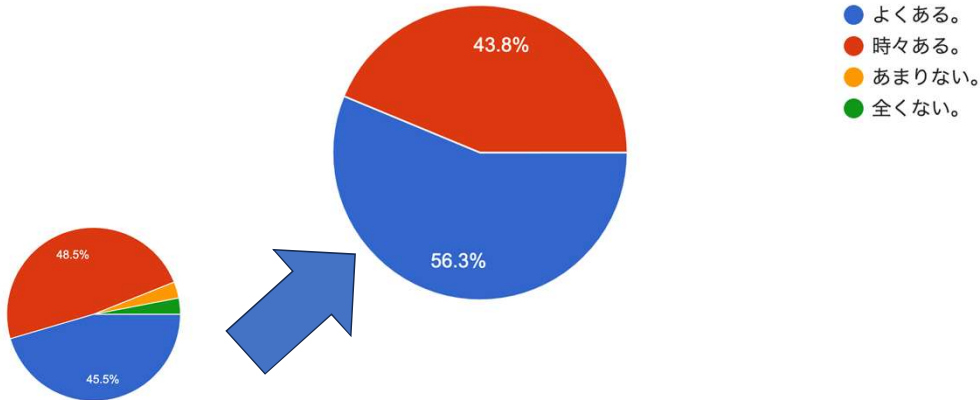
第1回アンケート



- 十分活動できている。
- まあ活動できている。
- あまり活動できていない。
- 全く活動できていない。

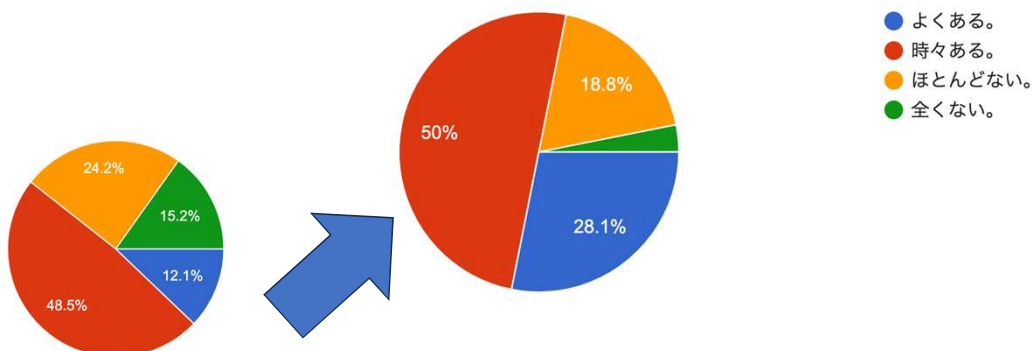
情報分析の効果について

試合中の判断や 公式試合 までの取り組みに情報分析の効果を感じたことがありますか？
32件の回答



練習前に課題抽出をしているか？

練習前にスライザーを使って自分の課題抽出をおこなってから練習に参加したことがあるか？
32件の回答

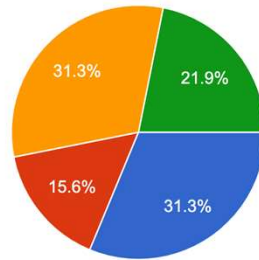
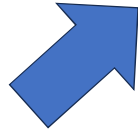
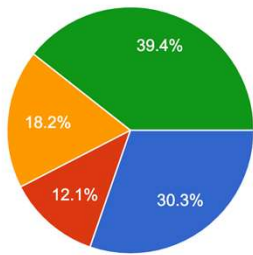


活動状況について

第2回アンケート

現在のあなたの状況について教えてください。（2023年7月から2024年1月）
32件の回答

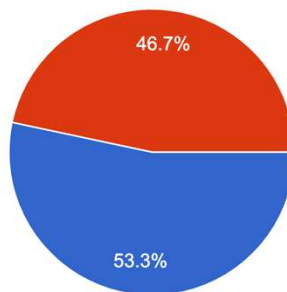
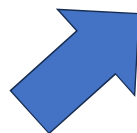
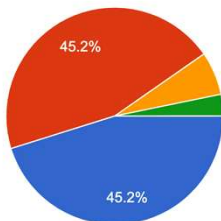
第1回アンケート



- 出場時間が半分以上あるレギュラーである。
- 出場時間が半分未満のレギュラーである。
- ベンチには入っているが、試合にはほぼ出ない。
- 上記以外の選手である。

役割について自身のやりがいの感じ方

自分の役割についてやりがいを感じていますか？※役割があると答えた選手のみ回答。
30件の回答



- 非常に感じる
- 感じる
- あまり感じない
- 全く感じない

4. 成果

- 選手一人一人の帰属意識が向上
- チーム内の競争力が向上
- 大会成績の向上
(国体準優勝、中国大会連覇 など)



5. 課題について

- 短時間で効率を上げるため費用を投資
映像分析アプリの費用
- 持続可能な組織マネジメント
学年バランス・部員数・指導者数

6. 提案 など

○チーム目標の明確化

達成に向けた具体的な行動をチームでしっかりと議論し規律を守ること。

○一人一人の具体的な役割を明確化

自分の役割がはっきりすることで、主体的に活動できる。

6. 提案 など

○練習メニュー、練習の課題を明確にしておく

事前にしっかりと準備を行ってトレーニングする。

○学校外の指導者を有効活用する

一人で抱え込まない。たくさんの目で選手を評価する。

7. まとめ

- 短時間でも十分な効果のある練習は可能
- 部局を設置し、チームマネジメントに選手も参加させる
- 指導に関わる指導者を増やし、様々な視点で選手を指導・評価する
- 客観的に評価できるように数値を用いる

ご清聴ありがとうございました。